

アジア太平洋地域での気候正義にもとづいた1.5度目標達成に向けた調査・提言活動

活動地域  アジア広域

ひろげる助成

3年目

調査研究

セミナーの開催 **6回**

ブログでの情報発信 **8回**

今年度計画の達成度 **80%**

全体計画の達成度 **100%**



COP27での活動の様子

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

一刻も早い気候変動対策の強化が求められているものの国際交渉はますます複雑化している。重要な点をわかりやすく市民に伝えるのに苦勞があった。

■ 工夫した点

アジアの市民社会団体、とくに若手との交流に力をおき、活発に交流を行った。

課題

日本のアジアに対する気候変動支援が化石燃料インフラの「低炭素化」中心でパリ協定と整合しておらず、地域コミュニティの声が支援策に反映されていない。

目標

1.5度目標達成及び途上国での被害対策のために、先進国による途上国への支援がパリ協定に合致し、当該支援策に途上国の声が反映されること。

活動内容と成果

COP等の国際的な気候変動交渉の場に参加し、交渉内容をウォッチ・分析し、グローバルサウス（途上国）、特にアジア諸国がどのような気候変動対策支援を求めているのかについて、提言活動を行った。
COP27ではグローバルサウスが長年求めてきた損失と被害に対する基金の合意がなされる等、成果があった。またアジア太平洋の市民社会団体のメンバーに対し、国際交渉のウォッチ等ノウハウを共有し、キャパシティビルディングに繋がった。



2023年2月議員会館でセミナー開催

全助成期間の活動を振り返って

気候変動は喫緊の課題で、1.5度目標を達成するために私たちに残された時間はほとんどないが、今、行動を起こせば解決できる問題でもある。この数年間、日本政府の気候変動対策の強化や、損失と被害の基金設立等、大きな成果も表れている。今後も様々な途上国の市民社会団体と意見交換を行い、途上国に求められている支援、途上国にすでにある知恵や知識を提言に反映させていきたい。



環境大臣と国会

〒173-0037
東京都板橋区小茂根1-21-9
電話：03-6909-5983
HP：http://www.foejapan.org



今後の展望

削減強化の重要性は認識されているが、一方で気候危機が深刻になるなか、適応や損失と被害に対する対応が求められている。見落とされがちなグローバルサウスの声を聞き、この3年間で培った知見や市民のネットワークをいかし、日本政府に対する働きかけや、国際的なアドボカシー活動の強化、また、一人一人ができる気候変動対策を積極的に動きかけていきたい。

